

2026 年 8 月 17 日

各 位

株式会社 西 京 銀 行
取締役頭取 松 岡 健

株式会社ユナイテクトさまによる「SDGs 宣言」策定について

西京銀行は、持続可能な社会の実現に向け、地元企業さまの SDGs への取組みをサポートする「さいきょう SDGs コンサルティングサービス」の提供を行っています。

このたび、当サービスを通じて、株式会社ユナイテクト（本社：山口県柳井市 代表取締役 大田 政織）さまが SDGs 宣言を策定されましたので、お知らせします。

企業概要

会 社 名	株式会社ユナイテクト
所 在 地	山口県柳井市柳井 4714-10
代 表 者	大田 政織
SDGs への取組み	当社は、プラント配管・設備配管・鋼構造物の施工および現場管理を通じ、安全性・品質・耐久性を追求したものづくりを行っています。培ってきた技術力と確かな施工品質、適切な現場管理により、お客さまの多様なニーズに応えるとともに、社会インフラを支える企業を目指しています。 また、多様な人材が安心して働ける職場づくりを推進しており、社員の健康と安全を最優先に、仕事と家庭を両立できる環境整備に積極的に取り組んでいます。社内教育や研修、資格取得支援を通じて、一人ひとりの成長を支え、働きがいのある職場づくりを目指しています。
U R L	https://unitect-co-ltd.com/

※ 株式会社ユナイテクトさまの SDGs 宣言については、別紙をご参照ください。

西京銀行は、引続き地元の課題解決ニーズに幅広く、きめ細かくお応えし、「地域の皆さまのお役に立つ銀行」を目指してまいります。

◆本件に関するお問い合わせ

西京銀行 ビジネスコンサルティング部（担当：木林）

TEL：070-7575-2294



株式会社ユナイテクト SDGs宣言

当社は、国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、事業活動を通じて、地域の課題解決と持続的な成長に貢献してまいります。

2026年8月17日
株式会社ユナイテクト
代表取締役 大田 政織

当社のSDGsへの貢献

確かな技術で支える社会インフラ

私たちは、プラント配管・設備配管・鋼構造物の施工および現場管理を通じ、安全性・品質・耐久性を追求したものづくりを行っています。培ってきた技術力と確かな施工品質、適切な現場管理により、お客さまの多様なニーズに応えるとともに、社会インフラを支える企業を目指しています。

【主な取り組み】

- プラント配管の加工・製作から現場据付まで一貫した施工体制の構築
- 寸法管理・溶接品質・工程管理を徹底した配管製作
- 図面・仕様書に基づく高精度な製作・施工



環境に配慮した事業活動

資材の適正利用や建築副産物の分別・リサイクル、省エネルギーを意識した施工を推進し、環境負荷の低減に取り組んでいます。限りある資源を大切にしながら、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

【主な取り組み】

- 精緻な材料計算に基づく配管製作で材料ロスの削減
- プレハブ化推進によるエネルギー使用量の削減
- ハイブリッド車の導入、工場・事務所照明のLED化
- 配管洗浄機の導入と中性洗浄剤への切替による排水処理負担の軽減・環境保全の推進

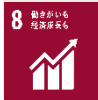


働きやすさと成長を支える職場環境

多様な人材が安心して働ける職場づくりを推進しています。社員の健康と安全を最優先に、仕事と家庭を両立できる環境や制度を整備するとともに、人材育成にも積極的に取り組んでいます。社内教育や研修、資格取得支援を通じて、一人ひとりの成長を支え、働きがいのある職場づくりを目指しています。

【主な取り組み】

- ワークライフバランスを重視した働き方の支援（従業員一人ひとりの事情に考慮した勤怠管理）
- 定期的な安全教育（外部研修や現場事例の共有等）
- 資格取得費用の全額負担によるスキルアップ支援



地域社会との共生

地域社会との信頼関係を大切に、社会インフラを支える企業として地域の発展に貢献しています。スポーツ活動や地域イベントへの支援を通じて、次世代を担う子供たちの成長を応援するとともに、地域コミュニティの活性化に積極的に取り組んでいます。

【主な取り組み】

- ミニバスケットボールチームのスポンサー活動を通じた地域の子供たちの成長支援
- 小学校のイベントや敬老会など、地域で活動する団体への協賛



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指します。SDGsの目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。